

—アンダーアーマー“UNDER ARMOUR”、初のテレビCM本格展開—

新作TVCM「この場所は譲れない」篇

4月18日(金)よりスタート

- 社員の企画・演出により、トップアスリートの圧倒的な本物感を表現 -

株式会社ドーム(本社:東京都品川区 社長:安田秀一)は、アスリートのパフォーマンスを最大化させる“真のスポーツブランド”「アンダーアーマー(UNDER ARMOUR)」のテレビコマーシャルを制作しました。「すばると!(CX)」提供他、4月18日(金)より全国で放映を開始します。

本CMは、頂点に立つ圧倒的強者達が、今まで築き上げてきた実績・自信・誇りを胸に、「この場所は、絶対に譲れない。」という強い思いのもと、ハードなトレーニングを次々とこなしていく姿を、力強く、ダイナミックな映像で表現し、アンダーアーマーの世界観を具現化しています。

本物を表現するため、出演者もアスリートに限定し、トップレベルのアメリカンフットボール選手、ラクロス元全日本代表選手等からなる、合計29名(ドーム社員4名含む)の構成となりました。トレーニングシーンも、人間の動きに関してはCG等を一切使用しない、リアルなパフォーマンスです。

また、本CMは、アスリートの感性および商品・ブランドを熟知するドーム社員自らが、深く制作に関わることにより、アスリートに響くメッセージを表現できるという確信のもと、企画・コンテ・オーディションから、現場の演出、そして編集まで、社内のクリエイティブ・ディレクター、スタッフが主導いたしました。更に、出演したドーム社員は、撮影本番時に、大勢の出演者達に実演指導する役割も担いました。

本CMを通じて、「アンダーアーマー(UNDER ARMOUR)」ブランドをご理解いただくと共に、一人でも多くの方に、スポーツの素晴らしさを感じていただくことにより、「スポーツを通じて豊かな社会を創る」という当社理念実現の一助となることを確信しております。

「アンダーアーマー(UNDER ARMOUR)」とは:

汗を素早く吸収、発散し、身体を常にドライで快適に保つウェアをはじめ、アスリートのパフォーマンスを最大化させる真の“スポーツブランド”。近年急速に普及した、身体にフィット(密着)するアスリートのためのウェアの発祥ブランドであり、米国本社では2006年\$430百万(470億円)、2007年\$605百万(670億円)と、誕生以来12年間で驚異的な成長。日本においても、プロ野球選手の4人に1人以上(08年間開幕戦スタメン着用率)、高校サッカーチームの35%の着用率(07年度全国高校サッカー選手権大会着用率)をはじめ、福留孝介選手(シカゴ・カブス)、阿部慎之助選手(読売ジャイアンツ)、伊澤利光プロ(ゴルフ)、皆川賢太郎選手(アルペンスキー)など、多くのトップアスリートのパフォーマンスを支えています。



【リリースについてのお問い合わせ先】

ブランドマーケティング部 担当:加藤・竹上 TEL:03-5781-7929 www.domecorp.com

共同PR株式会社 担当:神戸(かんべ)・長尾 TEL:03-3571-5275 FAX:03-3571-5380

【一般の方のお問い合わせ先】

ドームカスタマーセンター TEL:0120-106-786 www.underarmour.co.jp

新テレビコマーシャル「この場所は譲れない」篇

頂点に君臨するチャンピオンチームの肉体と精神を、トレーニングシーンにてダイナミックに表現します。

- ・頂点に立つ強者が背負っているもの-築き上げてきた実績、自信、誇り-
- ・醸し出される絶対的強者のオーラ
- ・「この場所は、絶対に譲れない。」という強い思い

【TVCMストーリー】

組まれる円陣。激しく響く掛け声。頂点に君臨する最強のチームは、リーダーの号令で一斉にハードなトレーニングに立ち向かっていく。ラストは、戦いに向かって出陣。

【放映期間】

2008年4月18日(金)～

【シーンカット】



【出演】

河口正史(アサヒ飲料クラブチャレンジャーズ)

川村亮(パンクラスism) 他

【スタッフ】

クリエイティブ・ディレクター:	福田将之(株式会社ドーム)
プランナー:	福田将之(株式会社ドーム)
コピーライター:	福田将之(株式会社ドーム)
広告代理店	株式会社電通
制作会社	株式会社電通テック